

# 2009 年度入学案内 正誤表

2009年度入学案内において誤りがございました。下記のとおり訂正をお願いいたします。

訂正箇所 : P. 28 資格科目の学年配当 (資格科目は2年間で学習します)

## 【誤】

### CASE ① 1年次入学

社会福祉士国家試験受験資格の取得を目的とした事例

2年次小計(要卒)		31	19	12	
3年次	簿記	2	2		
	NPO論	4	4		
	福祉社会システム論	4	4		
	医療福祉経営論	4	4		
	医療・福祉サービス論	2	2		
	非営利マーケティング論	4	4		
	★児童福祉論	2		2	
	★公的扶助論	2		2	
	★権利擁護と成年後見	2		2	
	★更生保護	1		1	
インターネット演習Ⅱ	2		2		
医療福祉システムの理論と実践	2		2		
3年次小計(要卒)		31	20	11	
4年次	経済学	4	4		
	マーケティング	4	4		
	医療政策論	4	4		
	産業心理学	4	4		
	非営利組織会計	4	4		
	医療福祉ビジネス	2		2	
	国際福祉開発	2		2	
	医療・福祉の経営・会計	2		2	
	4年次小計(要卒)		26	20	6
	資格科目	★相談援助演習Ⅰ			2*
	★相談援助演習Ⅱ			4*	
	★相談援助演習Ⅲ			4*	
	★相談援助実習指導Ⅰ			3*	
	★相談援助実習指導Ⅱ			3*	
	★相談援助実習			4*	

## 【正】

### CASE ① 1年次入学

社会福祉士国家試験受験資格の取得を目的とした事例

2年次小計(要卒)		31	19	12	
3年次	簿記	2	2		
	NPO論	4	4		
	福祉社会システム論	4	4		
	医療福祉経営論	4	4		
	医療・福祉サービス論	2	2		
	非営利マーケティング論	4	4		
	★児童福祉論	2		2	
	★公的扶助論	2		2	
	★権利擁護と成年後見	2		2	
	★更生保護	1		1	
インターネット演習Ⅱ	2		2		
医療福祉システムの理論と実践	2		2		
資格科目	★相談援助演習Ⅰ			2*	
	★相談援助演習Ⅱ			4*	
	★相談援助実習指導Ⅰ			3*	
3年次小計(要卒)		31	20	11	
4年次	経済学	4	4		
	マーケティング	4	4		
	医療政策論	4	4		
	産業心理学	4	4		
	非営利組織会計	4	4		
	医療福祉ビジネス	2		2	
	国際福祉開発	2		2	
	医療・福祉の経営・会計	2		2	
	4年次小計(要卒)		26	20	6
	資格科目	★相談援助演習Ⅲ			4*
	★相談援助実習指導Ⅱ			3*	
	★相談援助実習			4*	

## 【誤】

### CASE ② 3年次入学

社会福祉士国家試験受験資格の取得を目的とした事例

3年次小計(要卒)		44	26	8	10
3年次	★社会福祉援助技術論Ⅱ	4	4		
	★障害者福祉論	2	2		
	★社会保障論	4	4		
	★福祉行政財政と福祉計画	2	2		
	★福祉経営論	2	2		
	★保健医療サービス	2	2		
	★児童福祉論	2		2	
	★公的扶助論	2		2	
	★心理学	2		2	
	4年次小計(要卒)		18	12	6
4年次	NPO論	4	4		
	福祉社会システム論	4	4		
	医療・福祉サービス論	2	2		
	高齢者の心理	2	2		
	★地域福祉論	4		4	
	★権利擁護と成年後見	2		2	
	資格科目				2*
	★相談援助演習Ⅰ			4*	
	★相談援助演習Ⅱ			4*	
	★相談援助演習Ⅲ			4*	
	★相談援助実習指導Ⅰ			3*	
	★相談援助実習指導Ⅱ			3*	
	★相談援助実習			4*	

## 【正】

### CASE ② 3年次入学

社会福祉士国家試験受験資格の取得を目的とした事例

3年次小計(要卒)		44	26	8	10
3年次	★社会福祉援助技術論Ⅱ	4	4		
	★障害者福祉論	2	2		
	★社会保障論	4	4		
	★福祉行政財政と福祉計画	2	2		
	★福祉経営論	2	2		
	★保健医療サービス	2	2		
	★児童福祉論	2		2	
	★公的扶助論	2		2	
	★心理学	2		2	
	資格科目	★相談援助演習Ⅰ			2*
	★相談援助演習Ⅱ			4*	
	★相談援助実習指導Ⅰ			3*	
4年次小計(要卒)		18	12	6	
4年次	NPO論	4	4		
	福祉社会システム論	4	4		
	医療・福祉サービス論	2	2		
	高齢者の心理	2	2		
	★地域福祉論	4		4	
	★権利擁護と成年後見	2		2	
	資格科目				4*
	★相談援助演習Ⅲ			3*	
	★相談援助実習			4*	

※は、要修単位数(174単位)には含まれません。

※は、要修単位数(174単位)には含まれません。

# 2009 年度出願手続要項 正誤表

2009 年度出願手続要項において誤りがございました。下記のとおり訂正をお願いいたします。

## 1. 訂正箇所：P. 15 1 年間で精神保健福祉士国家試験受験資格を取得するための条件（下線部の削除）

【誤】

資格	条件
精神保健福祉士 国家試験 受験資格	(1) 社会福祉士資格を取得している、もしくは資格科目の履修要件を満たしていること (P. 64) 参照
	(2) 出願前に実習先を確保していること (本学所定用紙「 <b>㊦</b> 精神保健福祉援助実習施設内諸確認票」を取り寄せのうえ提出)
	(3) 志望理由書およびエントリーシートの提出 (本学所定用紙「 <b>㊦</b> 精神保健福祉士履修エントリーシート・志望理由書」を取り寄せのうえ提出)、審査に合格していること
	(4) 出願期間の第 1 期または第 2 期に出願すること <small>※合格者には、科目担当教員より、学習を進めるにあたり面談等による事</small>

【正】

資格	条件
精神保健福祉士 国家試験 受験資格	(1) 社会福祉士資格を取得していること
	(2) 出願前に実習先を確保していること (本学所定用紙「 <b>㊦</b> 精神保健福祉援助実習施設内諸確認票」を取り寄せのうえ提出)
	(3) 志望理由書およびエントリーシートの提出 (本学所定用紙「 <b>㊦</b> 精神保健福祉士履修エントリーシート・志望理由書」を取り寄せのうえ提出)、審査に合格していること
	(4) 出願期間の第 1 期または第 2 期に出願すること <small>※合格者には、科目担当教員より、学習を進めるにあたり面談等による事</small>

## 2. 訂正箇所：P. 30 特修正が正科生として入学するための条件（下線部科目の変更）

【誤】

分野	科目名 (単位)	分野	科目名 (単位)
社会	経営学 (4)	人文	日本史 (4)
	経済学 (4)		心理学 (2)
	国際開発 (4)		英語コミュニケーション (2)
	社会福祉学 (4)	自然	医学概論 (2)
	民法 (4)		生物学 (2)
	社会学 (2)		
簿記 (2)			

【正】

分野	科目名 (単位)	分野	科目名 (単位)
社会	経営学 (4)	人文	日本史 (4)
	経済学 (4)		心理学 (2)
	国際開発 (4)		実践英会話 (2)
	社会福祉学 (4)	自然	医学概論 (2)
	民法 (4)		生物学 (2)
	社会学 (2)		
簿記 (2)			

## 3. 訂正箇所：P. 43 社会福祉士の演習・実習科目に関する履修要件（下線部「相談援助実習」要件の追加）

【誤】

相談援助実習	次の 3 科目の単位を修得していること。 相談援助演習 I (2)、相談援助演習 II (4)、相談援助実習指導 I (3)
--------	---

【正】

相談援助実習	下記の①、②の要件を満たしていること。 ① 次の 3 科目の単位を修得していること。 相談援助演習 I (2)、相談援助演習 II (4)、相談援助実習指導 I (3) ② 「相談援助実習指導 II」を同時に履修すること。
--------	--

## 4. 訂正箇所：P. 67 国家試験受験資格 Q&A（下線部の追加）

【誤】

Q 社会福祉士を目指していますが、将来は精神保健福祉士も取得したいのですが。  
A：社会福祉士国家試験受験に必要な科目に加え、「精神保健福祉援助技術総論」の単位を在学中に修得してください。そうすれば、卒業後、「精神保健福祉士短期養成施設（通学課程・通信課程）」において、最短 6 ヶ月間の受講で精神保健福祉士国家試験受験資格を得ることができます。

【正】

Q 社会福祉士を目指していますが、将来は精神保健福祉士も取得したいのですが。  
A：社会福祉士国家試験受験に必要な科目（ただし、選択科目のうち「権利擁護と成年後見」の単位修得が必要）に加え、「精神保健福祉援助技術総論」の単位を在学中に修得してください。そうすれば、卒業後、「精神保健福祉士短期養成施設（通学課程・通信課程）」において、最短 6 ヶ月間の受講で精神保健福祉士国家試験受験資格を得ることができます。

## 5. 訂正箇所：P. 84 「障害者スポーツ研究」科目概要（下線部履修者条件の追加）

【誤】

科目名	障害者スポーツ研究	単位数 担当教員
	国内外の障害者スポーツに関する情報収集および障害者のスポーツの普及・障害者スポーツ協会の基準プログラムに則した実技・演習を中心に実施する。	

【正】

科目名	障害者スポーツ研究	単位数 担当教員
	国内外の障害者スポーツに関する情報収集および障害者のスポーツの普及・障害者スポーツ協会の基準プログラムに則した実技・演習を中心に実施する。 <u>※正科生のみ履修可能</u>	